

背景

- 訪日外国人旅行者は、災害に対する知識などが日本人と異なり、日本での災害対応が理解できないことが多い。
 - このため、日本で使用されている災害用語や避難行動などをそのまま翻訳しても、訪日外国人旅行者にとって重要な「災害時に取るべき行動」が分からないといった課題がある。
 - 観光庁では、これまで災害時の外国人旅行者対応に必要な文例について多言語化を行ってきたところだが、予備知識のない訪日外国人旅行者にとって「伝わりやすい表現」となっていないものがあつた。
(例) ・〇〇地区及び●●地区にいる方は、直ちに■■方面へ避難してください。
・気象庁が発表する噴火予報及び噴火警報に注意しましょう。
→ 地理的知識や警戒情報の理解に乏しい外国人旅行者に伝えてもどのように行動すべきか理解できない。
- ➡ 訪日外国人旅行者が非常時に取るべき行動が理解できるよう、非常時の情報等を伝わりやすい表現で翻訳することを目的とした「**伝わる表現での用語集**」を作成。

用語集の構成

- 本用語集は、「表現編」と「単語編」で構成され、各災害の現場で使用が想定される用例と単語について多言語化を行った。
- 訪日外国人旅行者にとって重要な「災害時に取るべき行動」に主眼をおいて用例を整理した。
- 翻訳にあたり、災害そのものの知識がない外国人旅行者にも配慮したほか、外国人旅行者の母国での表現などを考慮した。※
※そのため、気象庁等で使用されている在留外国人を含めた外国人向けの翻訳とは異なるものがある

【表現編】非常時の外国人旅行者対応の現場で使用が想定される用例を掲載。

【単語編】表現編の用例を使用する際など、非常時の外国人旅行者対応の現場で使用が想定される単語を掲載。

表現の見直し・追加（一部抜粋）

- 表現の翻訳については、従前の表現を短文化したり、訪日外国人旅行者が取るべき行動が分かるように用例の見直しを行ったほか、新型コロナウイルス感染症対応に必要な表現などを新たに翻訳を行った。

従前	今回（本用語集）	見直し・新設理由
緊急地震速報です。強い揺れに注意してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が来ます！ ・体を低くして ・頭を守って ・そのままですいてください 	災害の予備知識のない外国人旅行者にとって、どのように揺れを注意すれば良いか分からないため、具体的に取りべき行動を記載するとともに、表現を短文化した。
津波が来るので逃げてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇へ避難してください。 ・避難方法はスタッフがご案内します。 	災害の予備知識のない外国人旅行者にとって、どこに逃げれば良いか分からないため、具体的な場所を提示し、スタッフが案内するよう記載。
—	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止のため、入場者数を制限しています。 	新型コロナウイルス感染症を踏まえた用例を新たに追加。